

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		農業委員活動費		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農業の担い手の育成・確保		市民協働
予算科目コード		01-060101-04	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
農業委員・農地利用最適化推進委員の資質の向上を図るための研修会等に参加する必要性が生じたため。	農業会議や県南連絡協議会主催の研修会に参加する。2年に1回、農業委員会で県外視察研修を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農業委員・農地利用最適化推進委員の資質を向上させ、担い手への農地集約等を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
担い手の育成に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
農業委員・農地利用最適化推進委員は、知識向上に積極的に取り組み、活動する必要があることから現状維持とする。	農業会議や県南連絡協議会主催の研修会等に参加した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
研修会等参加回数	27.00	15.00	12.00	15.00	15.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	研修会等に参加することにより、知識向上が図られている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 ■統合 □廃止・終了	事務の効率化を図るため、関連事業と統合する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	355	188	353	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	355	188	353	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	152.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	623	0	0
トータルコスト		355	188	976	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		農業者年金事業		担当課 経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間 年度～
	施策	農業の支援		種別 法定事務
	基本事業	農業の担い手の育成・確保		市民協働
予算科目コード		01-060101-05 補助	根拠法令・条例等	独立行政法人農業者年金基金法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
農業者の年金給付の事業を行うため、独立行政法人農業者年金基金による、業務の一部を市町村（農業委員会）に委託され開始した。	農業者年金の加入推進を図るため、窓口や訪問で相談や指導を行う。農業者年金への加入及び受給に関する手続きや被保険者の管理事務を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を図ることにより、新たな担い手の確保を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
担い手の育成に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
業務委託により、農業者年金基金の指導に沿って業務を行うため、現状維持とする。	加入推進の取組により、新たに1名加入者が増えた。死亡一時金（受給停止）の手続きも16件処理した。受給者の管理（現況届の確認等）についても、適正に事務を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
農業者年金受給者人数	106.00	97.00	81.00	81.00	81.00
農業者年金加入者人数	6.00	5.00	6.00	7.00	8.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	農業者年金は、基金から業務委託され実施する事業であるため。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	農業者年金基金から業務委託に基づき実施するため、事業維持とする。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	207	122	138	151	151
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	207	122	138	151	151
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	294.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,205	0	0
トータルコスト		207	122	1,343	151	151

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		水田農業構造改革対策事業		担当課 経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間 昭和48年度～
	施策	農業の支援		種別 法定＋任意
	基本事業	農業の担い手の育成・確保		市民協働
予算科目コード		01-060103-04 補助	根拠法令・条例等	経営所得安定対策等推進事業費補助金 守谷市水田農業構造改革対策事業補助金交付要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
米価の安定を図るため、昭和48年に国の政策として減反による米の生産調整が開始された。平成23年度に現行制度に改正され、水田農業構造改革対策事業として実施している	米の生産調整を実施し、対象作物を生産する販売農家に対し、主食用米生産時からの収入減少対策として、転作面積及び対象作物に応じた補助金を交付する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
米の生産調整を推進し需給均衡と水田の最大限の活用による食料自給力・自給率の維持・向上を目的に、需要に応じた米づくりや戦略作物の生産に取り組む農業者の経営安定化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
担い手の育成に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
米の生産調整の円滑な推進とともに、農業経営の安定化を図るため、現状維持とする。	米の生産調整を実施し、対象作物の生産に取り組んだ農業者74名に対し、転作面積に応じた補助金を交付した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
転作実施面積（ha）	123.00	156.30	154.10	160.00	160.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	補助金の交付により転作実施面積が増加し、生産調整目標面積を達成することができた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	生産調整を達成し、対象作物の生産に取り組んだ農業者へ補助金を交付する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	15,474	22,829	23,216	23,877	23,877
	国・県支出金	2,980	3,041	2,980	3,185	2,299
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	12,494	19,788	20,236	20,692	21,578
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	648.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	2,657	0	0
トータルコスト		15,474	22,829	25,873	23,877	23,877

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		制度資金利子補給事業		担当課 経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間 昭和52年度～
	施策	農業の支援		種別 法定事務
	基本事業	農業の担い手の育成・確保		市民協働
予算科目コード		01-060103-06 補助	根拠法令・条例等	守谷市農業経営基盤強化資金利子助成金交付要項，守谷市農業近代化資金等利子補給金交付要綱

なぜ、この事業を実施しているのか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
農業経営者の経営安定化のため、農業近代化資金及び農業経営基盤強化資金利子助成による利子補給事業の確立により開始。	対象となる制度を利用し、農業者が効率の良い農作業を行うために農業施設・機械を導入する際や、規模を拡大する際に融資を受けた資金に対して発生する利子の一部を補填する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農業経営に必要な資金調達を円滑化し、農業施設・機械導入による農作業の効率化により、農業経営の安定化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
担い手の育成に努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
当初借入金に対する利子補給であるため、現状維持とする。	返済状況を確認し、利子補給を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
累計借入者数（人）	10.00	10.00	10.00	10.00	8.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	確定している利子補給に対する補助金であるため、成果に変動はない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	確定している利子補給に対する補助金であるため、継続して実施する。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	2,553	1,879	1,308	1,100	1,000
	国・県支出金	927	573	683	510	50
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,626	1,306	625	590	950
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	31.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	127	0	0
トータルコスト		2,553	1,879	1,435	1,100	1,000

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		人・農地プラン事業	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成26年度～
	施策	農業の支援	種別	法定事務
	基本事業	農業の担い手の育成・確保	市民協働	
予算科目コード		01-060103-08 補助	根拠法令・条例等	「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」に関する取組方針

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
農業者の高齢化やそれに伴う後継者不足、耕作放棄地が増加していることから、地域の農業発展を図るため開始したもので、平成25年度に市内4地区で人・農地プランを策定した。	人・農地プランを毎年見直しをする。また、新たな担い手として就農した青年（就農年齢45歳未満）就農者に対し就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農5年以内の所得を補償する給付金を交付する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
各地区の農業者が地区の農業の将来像を検討し、地区の農業の担い手となる農業者への農地の集積や新たな担い手候補を育成することにより、後継者不足等の課題解決を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
担い手の育成に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）		具体的内容とスケジュール	
改善内容（課題解決に向けた解決策）			
次年度のコストの方向性（→その理由）			
☐増加 ☐維持 ☐削減			

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
農業者は、地域に合わせた農業の方向性を確認するため、地域の状況に合わせて、毎年度プランを見直すことにより、地域農業や農地利用の活性化を図ることができる。	4地区について、人・農地プランの見直しを実施した。なお、中心経営体内、今年度は、4名に対し経営体育成事業により、農業機械等の購入補助を実施した。また、農業経営改善計画審査会において、新規青年就農者1名の認定を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
プラン見直し累計回数	6.00	6.00	10.00	14.00	30.00
青年就農給付金受給者人数	2.00	2.00	2.00	3.00	1.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	プランの見直しが行われ農地の集積や青年就農者の増加に繋がっている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	毎年、プランの見直しを行う。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	6,000	4,466	10,168	4,500	3,000
	国・県支出金	6,000	4,466	10,168	4,500	3,000
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	273.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,119	0	0
トータルコスト		6,000	4,466	11,287	4,500	3,000

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		家畜衛生指導事業	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	年度～
	施策	農業の支援	種別	任意の事務
	基本事業	農業の担い手の育成・確保	市民協働	
予算科目コード		01-060104-02 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 家畜産物衛生指導協会が一部の家畜伝染病に対して検査や予防接種を実施している。検査及び予防接種に係る費用のうち一部を市で負担している。
家畜伝染病予防法に基づき、家畜等の健康維持・自衛防疫強化のため開始した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
各種伝染病の発生を防止することで、家畜の健康維持と生産性の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
担い手の育成に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
家畜の伝染病が発生しない状況を維持する必要があるため、現状維持とする。	家畜伝染病予防法に基づく検査の実施により疾病の予防に努め、家畜保健衛生所や畜産農家との情報共有及び発信を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
検査を実施している疾病の発生件数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
予防接種を実施している疾病の発生件数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	伝染病が発生せず、廃用となる家畜は出ていない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	家畜伝染病が発生しない状況を維持する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	520	519	417	937	417
	国・県支出金	3	3	1	112	1
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	517	516	416	825	416
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	187.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	767	0	0
トータルコスト		520	519	1,184	937	417